

# 保育士キャリアパスを意識した 保育園業務支援システム プロトタイプ開発

2019年2月22日

大阪産業大学 デザイン工学部 情報システム学科

○山口 紗世, 井上 友裕, 橋本 慎也,  
山田 耕嗣, 高橋 徹

# 目次

- 研究背景、目的
- 改善シナリオの探索
- 保育施設連携・組織化構想
- システム開発（登降園管理、活動量可視化）
- 構想・システムの検証
- システムの実証実験へ
- まとめ

# 研究背景／過重業務

共働き世帯増 → 保育ニーズ高まる

**48.5%** …… 資格保有も保育士就労の拒否率

**10.3%** …… 保育士の退職率

業務改善要望

給与等 **59.0%**、職員増 **40.4%**、

雑務軽減 **34.9%**

# 研究背景／キャリアパス未整備

- ・ 保育士のキャリア段階

養成校  
の段階

新人  
の段階

保育者  
の段階

管理職  
への移行

管理職  
の段階



新人～保育者の段階  
の従事者が**70%**を占める

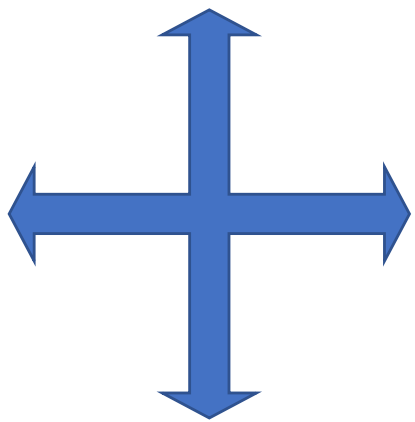
# 研究目的

- 保育士キャリア形成モデルの構想
- 構想を実現する情報システム
  - プロトタイプ構築
  - 実証実験

# 改善シナリオの探索

# シナリオプランニング

- シナリオを「作成すること」
- シナリオを使って「戦略をたてること」
- 議論を進めるため、縦と横の軸の設定が必要
- 保育施設職員のための改善シナリオ



横軸：固定的／流動的

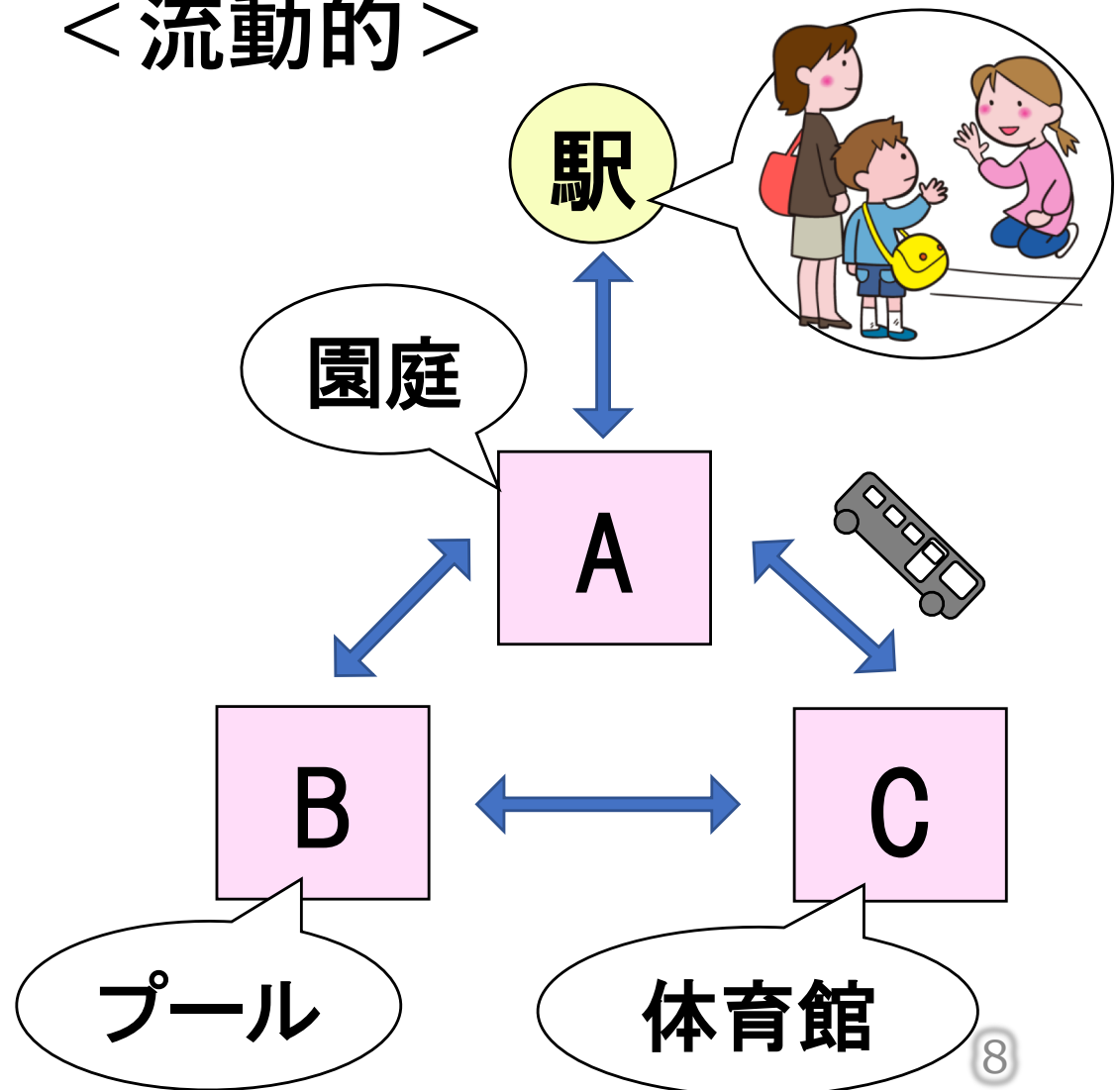
縦軸：人に優しい／人に厳しい

# 保育施設の業務形態

< 固定的 >



< 流動的 >





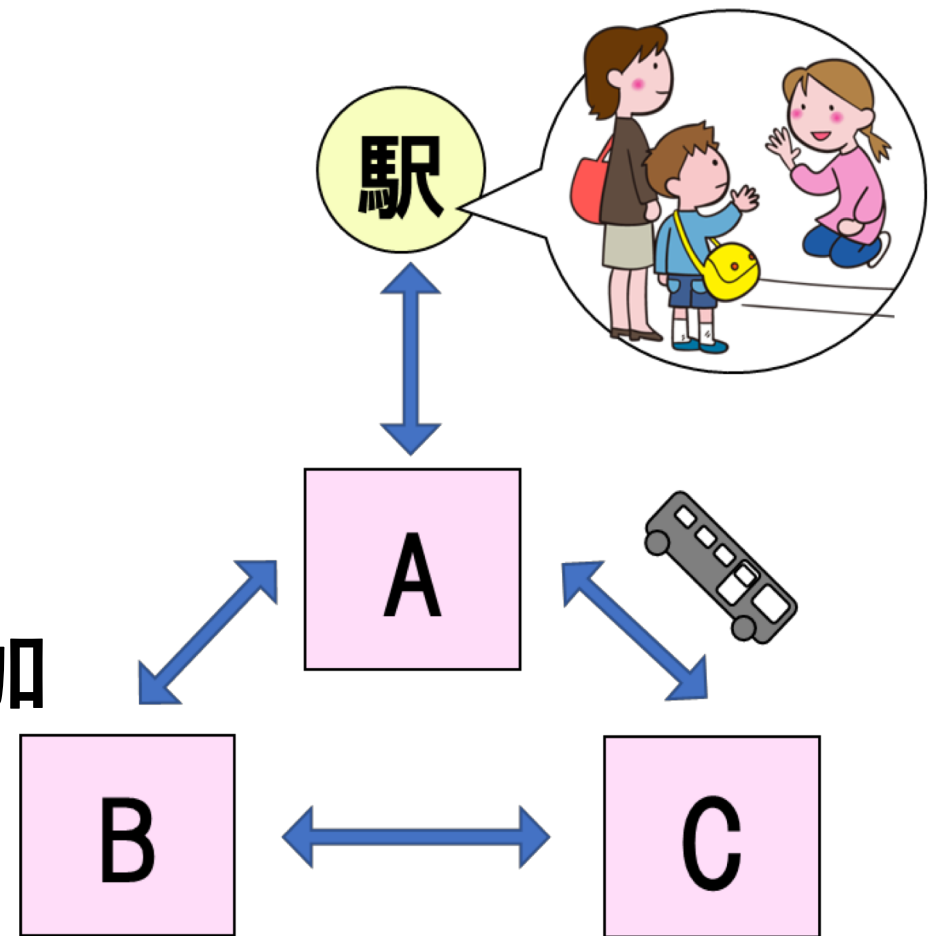
# 流動的保育施設

## 保育士

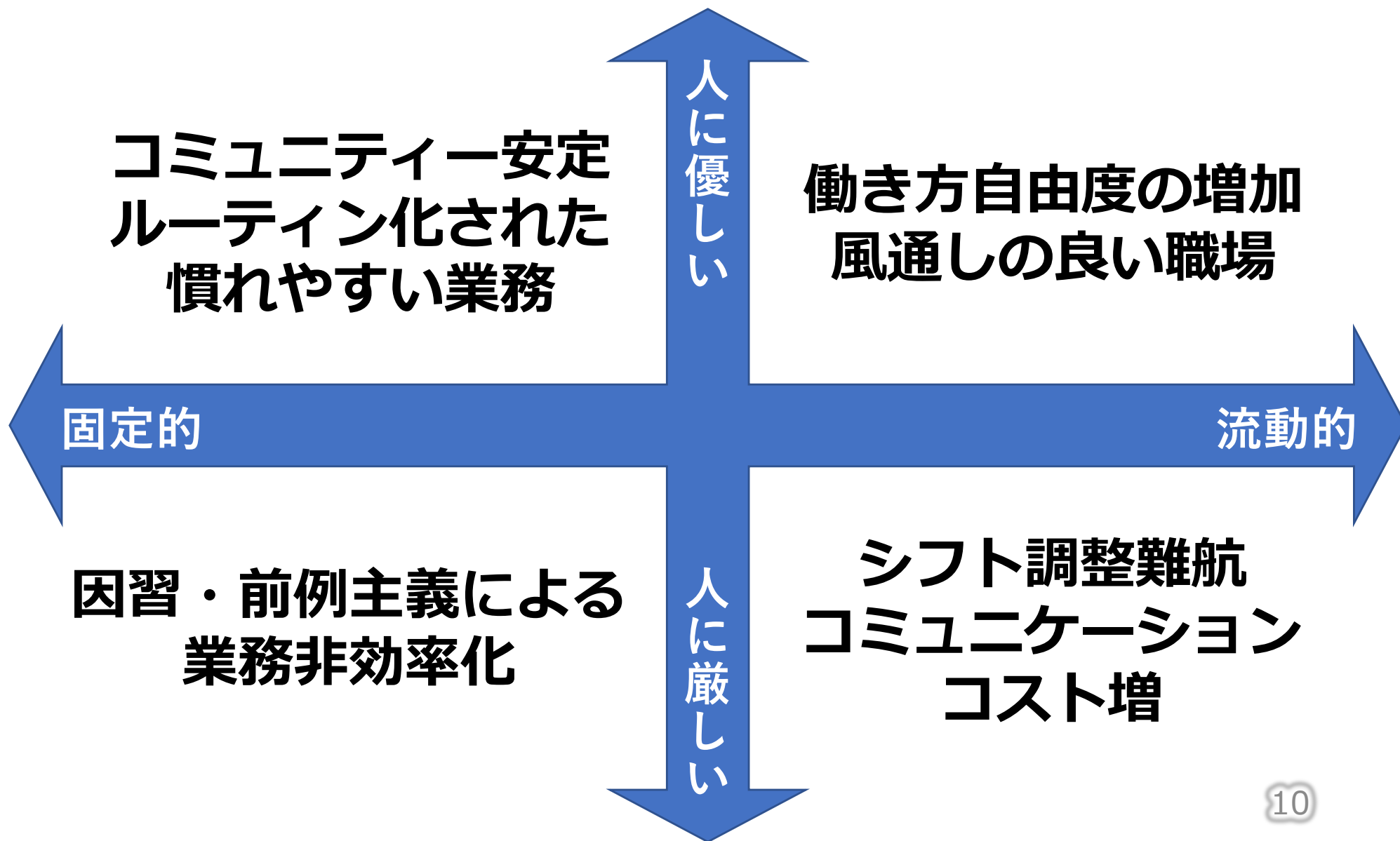
- 勤務場所の選択
- シフトの自由度増加

## 利用者(保護者・園児)

- 送迎方法の選択肢増加
- 園児の幅広い経験

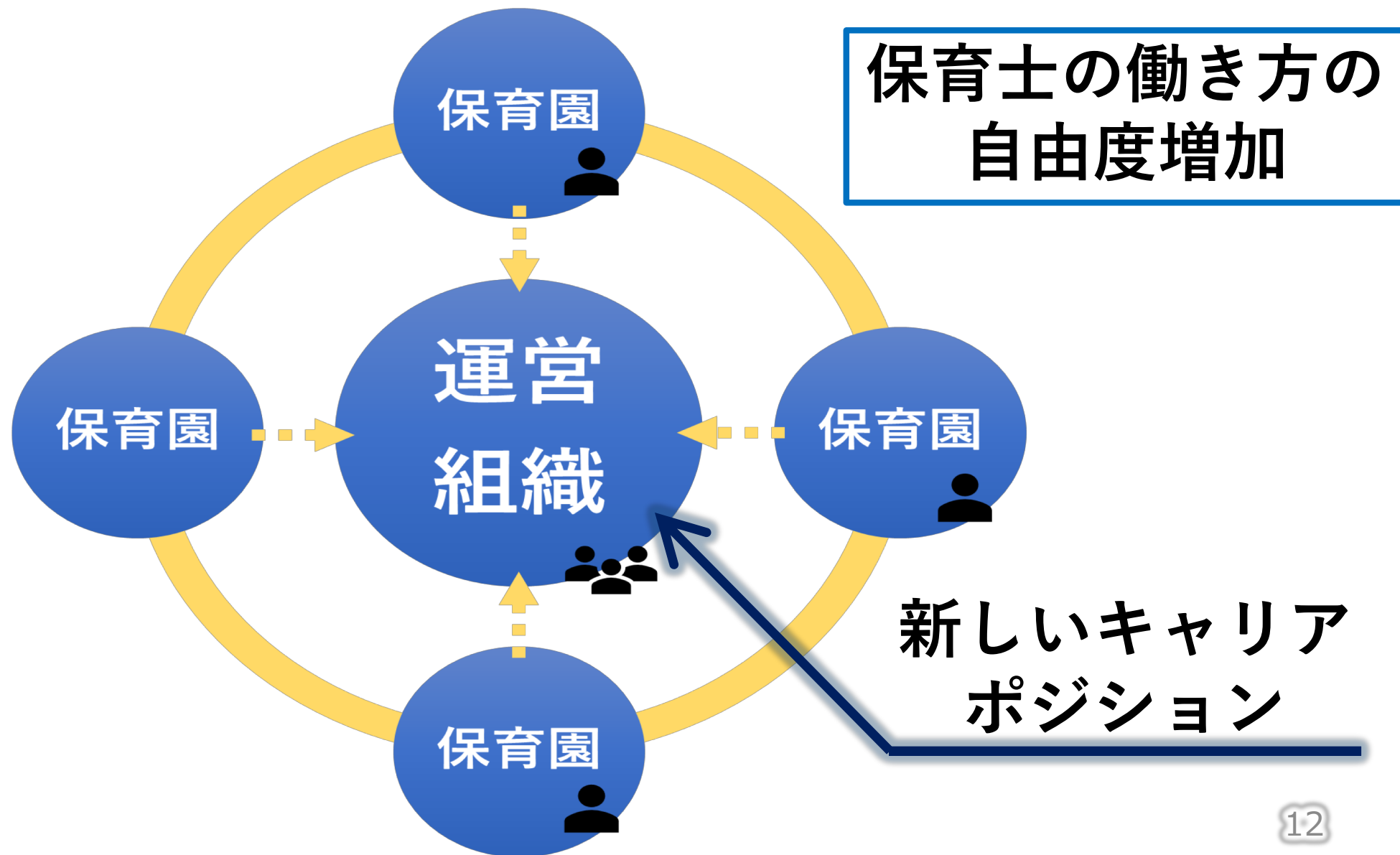


# シナリオプランニング結果



# 保育施設連携・組織化構想

# 保育施設連携・組織化



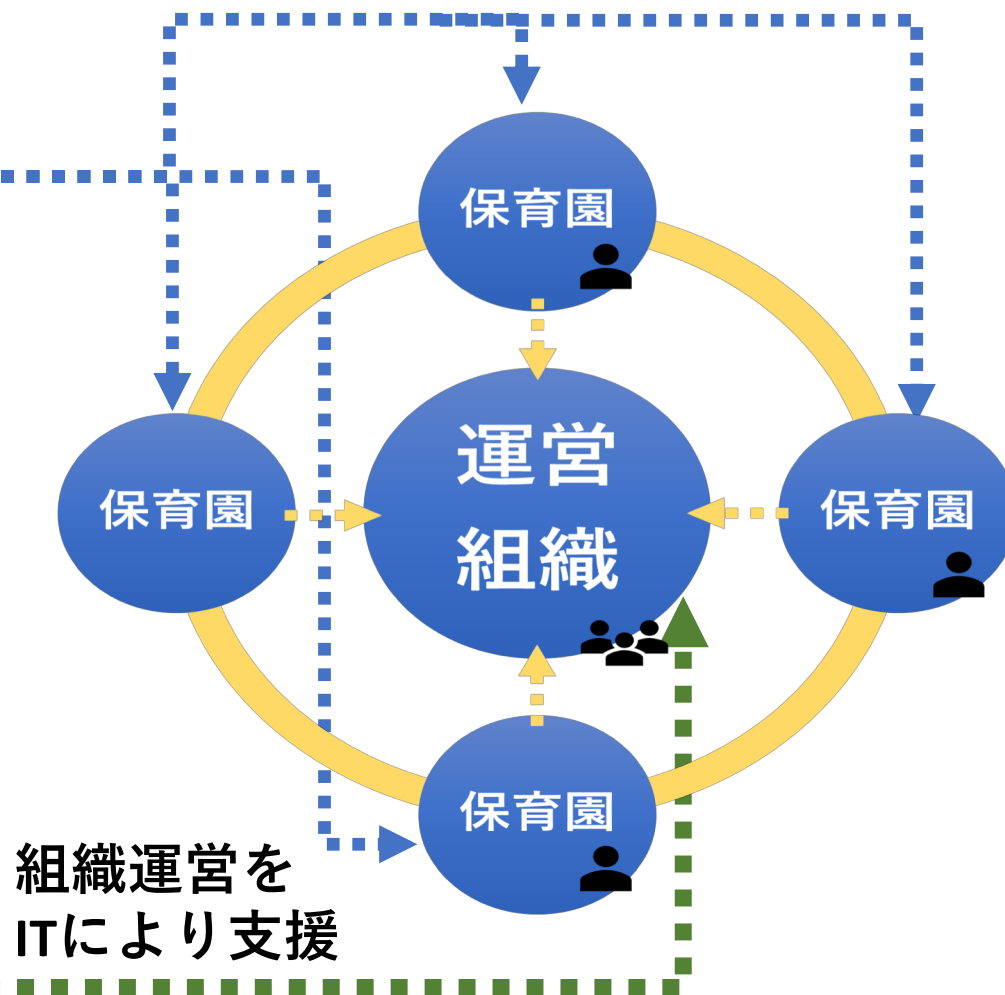
# 組織化を支援するステップ

ITによる支援→業務改善→余力の生成

STEP1. 各保育園での業務改善

STEP2. 保育園の流動性を  
実現する運営の検討

STEP3. 保育施設連携・  
組織化



# 保育園業務支援／ベースシステム

- ・ クラウドサービス kintone  
(キントーン)
  - ・ サイボウズ社が2014年より提供  
ノーコードで情報システム構築
- ①登降園管理システム  
②活動量可視化システム

# 登降園管理システム開発

# 登降園管理業務の現状

- **問題点**

- 時刻、氏名を手書きで記録
- 時刻の記入ミス、漏れ、見誤り

- **余計な業務の発生**

- 正確性の確認のための連絡
- 保護者とのトラブル



# 登降園管理システムの提案

- ICカードによる打刻

- 時刻の記入ミス、漏れがなくなる
- 時刻の見誤りがなくなる

- 期待できる効果

- 保育時間の正確さ向上
  - 正しい保育料金請求

# 仕事量可視化システム開発

# 仕事量可視化の背景

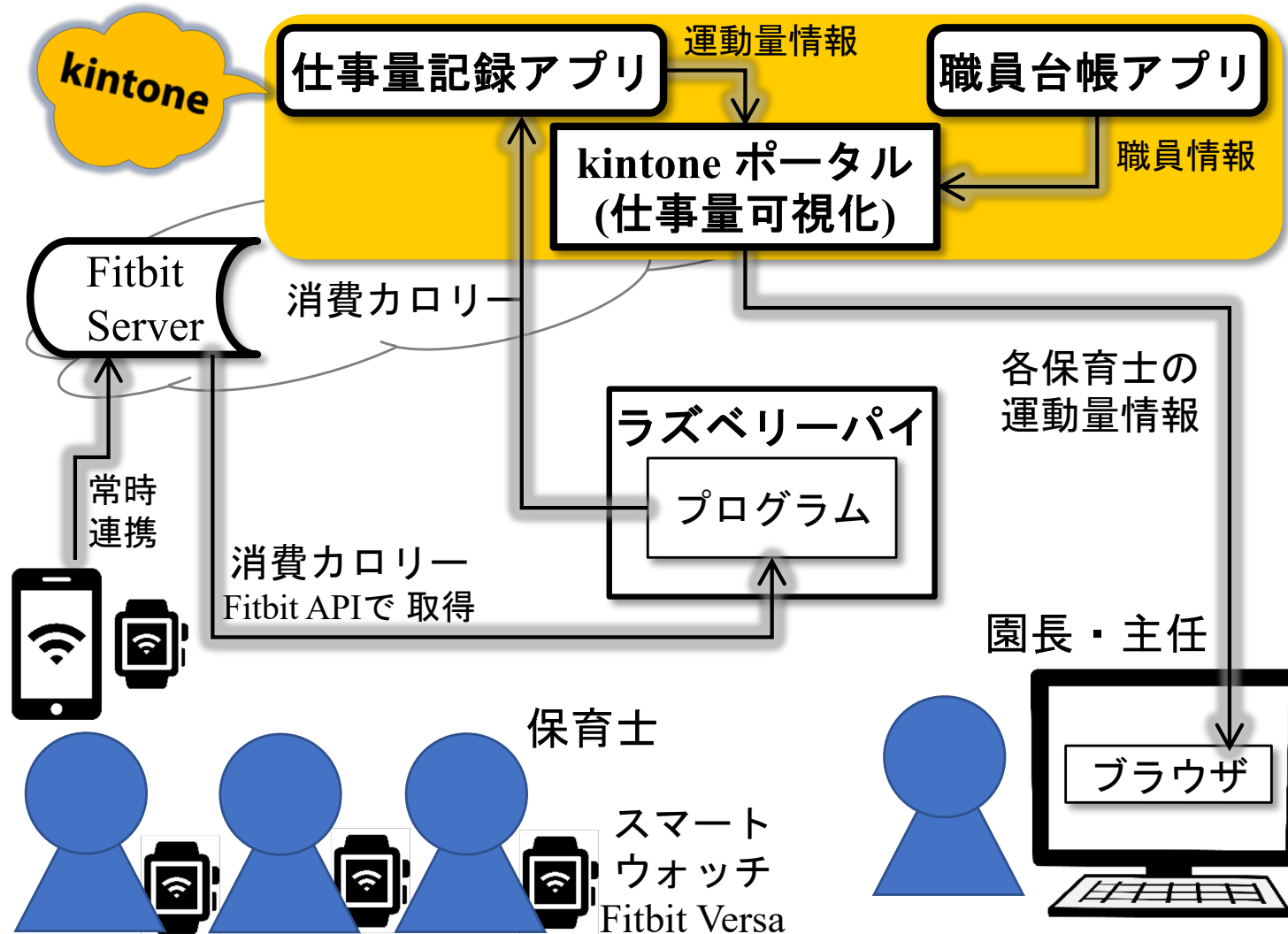
- **問題点**

- 保育士 1 人あたりの園児数の定め
- ケガやトラブルなど突発的な対応が困難

- **保育士状況を可視化**

- 保育士の特定の情報の収集、可視化
- 保育士の状況を適宜把握し、園長らが指示
- 仕事量として消費カロリーを把握

# 仕事量可視化システム



# 構想・システムの検証

# 調査①

調査対象：

X大学短期大学部 幼児教育学科2年生5名

時期：

2018年8月4日（土）10時～12時

調査結果：

- ・ 保育士志望は5名中1名のみ

保育実習でイメージとのギャップ、不安書き物が多く、かつ手書きを要求される

## 調査②

調査対象：

Y市女性保育士(50歳代1名,60歳代2名)

時期：

2018年10月22日（月）18時～21時

調査結果：

- ・ 手書きへの執着  
パソコン、デジタル化への抵抗感
- ・ キャリアパスに関心がない
- ・ 挨拶は「人と人」、機械音は良くない

# 登降園システム改訂

## 連絡事項を音声合成で読み上げ

- イベント

「2月23日はお遊戯会です」

- 持ち物

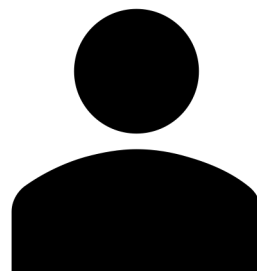
「次回は〇〇を持ってきてね」

- 注意喚起

「風邪やインフルエンザが流行っています  
手洗いうがいをしっかりとしましょう」



# システムの実証実験へ



# 実証実験の依頼①

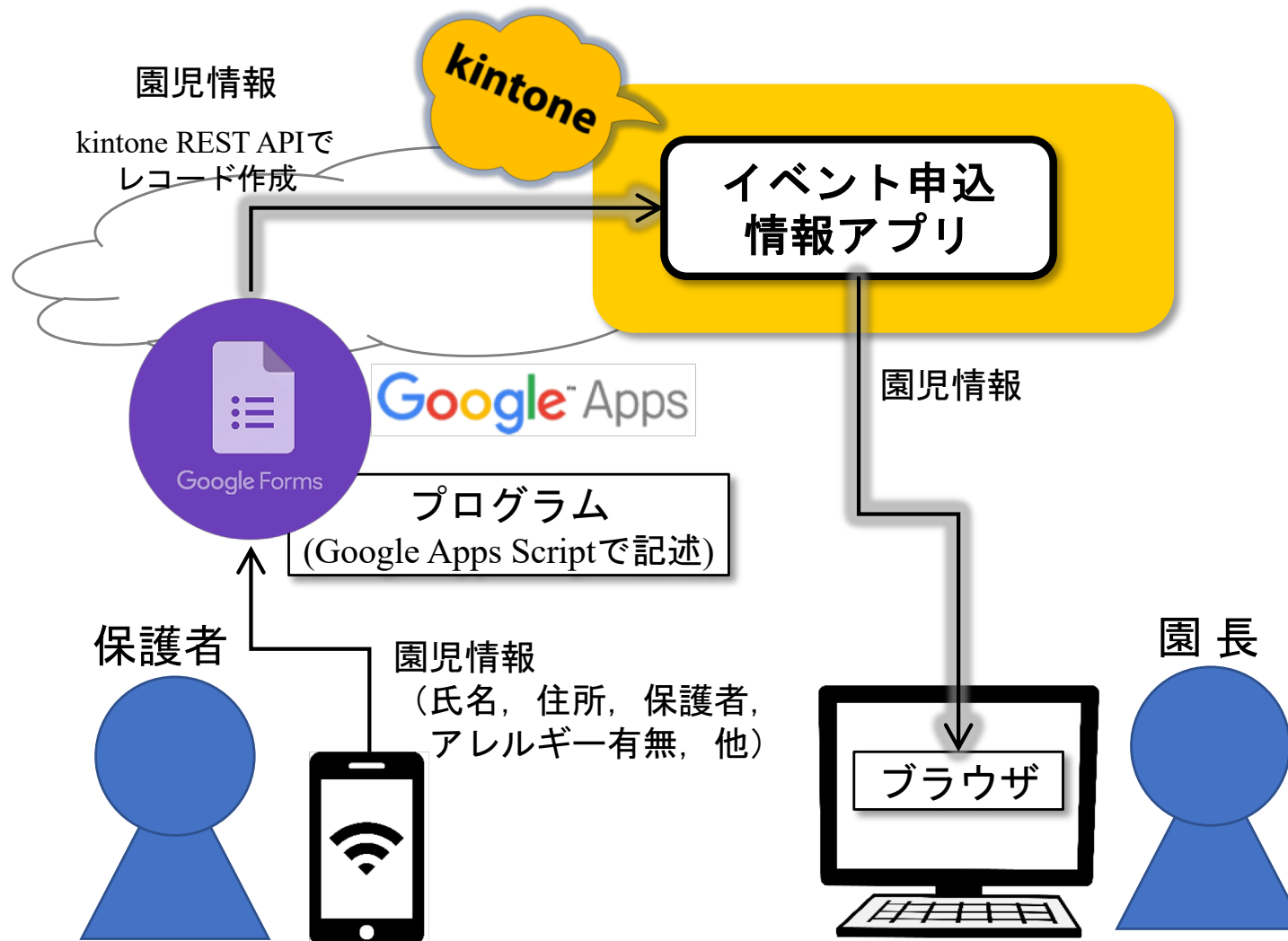
**依頼対象：岐阜県の幼稚園2件， 保育園1件**

**調査時期：2018年12月4日（火）**

**結果：イベント申し込み業務の実証実験決定**



# イベント申し込みシステム



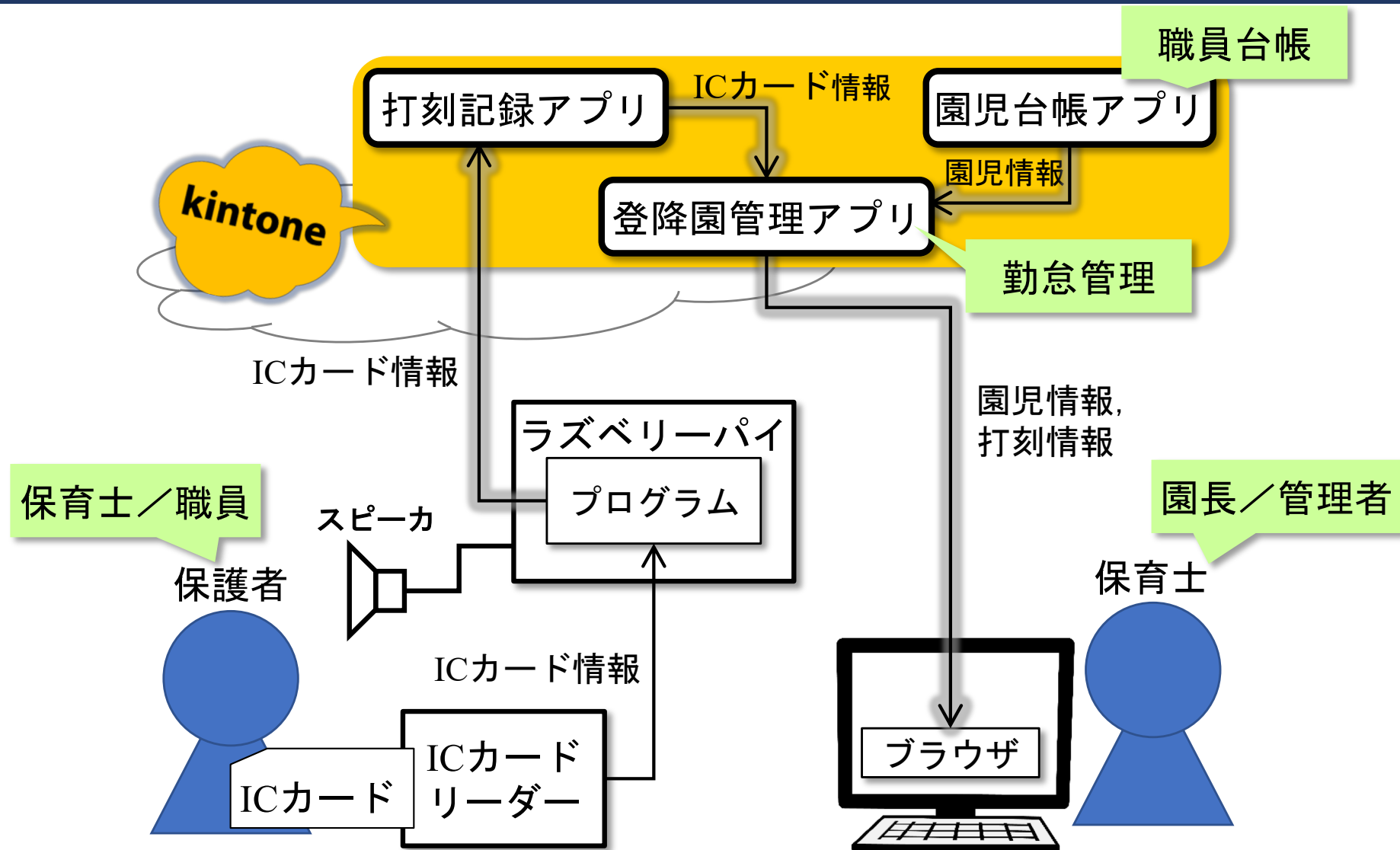
# 実証実験の依頼②

依頼対象：兵庫県の保育園1件

調査時期：2019年1月31日（木）



# 結果：登降園 → 勤怠管理システム



まとめ

# まとめ

- 目的
  - 保育士のキャリア形成を支援
- 流動的保育施設
  - 保育施設の連携、組織化
- 結論
  - IT化への抵抗感を払拭
  - 業務内容の変化を伴わない業務から効率化
- 今後の展望
  - 2019年2月より岐阜県の幼稚園で施行運用開始





# 関連図書

- 厚生労働省：保育士等に関する関係資料,  
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11600000-Shokugyouanteikyoku/0000057759.pdf>, 3(2014) (Access on Sep.28,2018)
- 厚生労働省：保育分野における人材不足の原因・理由①,  
[https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11901000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Soumuka/s.1\\_3.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11901000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Soumuka/s.1_3.pdf), 5(2015) (Access on Sep.28,2018)
- 東京都福祉保健局：東京都保育士実態調査 報告書,  
<http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2014/04/DATA/60o4s201.pdf>, 60, (2014) (Access on Sep.28,2018)
- 全国保育協議会. 全国保育所実態調査報告書2011,  
<http://www.zenhokyo.gr.jp/cyousa/201209.pdf>,38,(2012) (Access on Jan.24,2019)
- 紺野：ビジネスのためのデザイン思考, 191/192, 東洋経済新報社(2010)